

2018 専攻科保育専攻  
履修系統図

専攻科保育専攻の  
ディプロマポリシー  
(修了認定・学位授  
与の方針)

I 知識・専門技術・理解（文化、社会、自然、等）  
豊かで幅広い教養を身に付けている。  
保育に関する専門的知識・技術を修得し、子どもを取り巻く環境を社会認識によってとらえ正しく理解している。

II 汎用的技能（コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等）  
保育の様々な場面で問題を多角的かつ根源的に理解・分析し、解決していく力を身に付けている。

III 態度・志向性（自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等）  
地域の発展・向上に寄与する使命感を持ち、協働の意識とマナーを身に付け、保育の現場を支えることができる。

IV 総合的な学習経験と創造的思考力  
体系的な学習と現場での経験を保育実践力として総合し、保育の様々な課題を探究し続ける思考を持っている。

セメスター到達目標	カリキュラムポリシー (教育課程編成の方針)	1 保育現場において活用する語学とPC操作の科目を配置する。 保育職の意義、保育の基礎理論、幼児の理解および幼児の活動を支援する方法に関する科目を配置する	2 保育実践力を培うための科目を配置する	3 幼児を取り巻く社会状況の認識や精神文化についての科目を配置する	4 課題探究と総合的保育力を向上させるための科目を配置する
-----------	---------------------------	--	----------------------	-----------------------------------	-------------------------------

1 豊かな教養を身に付けている。  
算数の教科、発達障害、音楽・造形表現に関する知識・技術を修得している。  
2 障害者福祉の技能をふまえ、インターンシップを通じて保育職業人のスキルを身に付けている。  
3 地域社会に貢献する意義を理解している。  
自己肯定感を持つと共に、他者の言葉や気持ちを理解し、思いやりを持った行動ができる。  
4 保育現場において論理的な学びの成果を実践できる。  
保育の課題について研究した内容を、適切な方法で社会に伝達することができる。

2年後期

総まとめ

1 外国語、体育の強化、教育課程、音楽表現の保育内容、保育相談に関する知識・技術を習得している。  
2 家庭援助、世代間交流、看護をふまえ、インターンシップを通じ保育の問題について多角的な視野をもって解決することができる。  
3 保育職の社会的役割や倫理について認識している。  
積極的な行動意思と協調性を併せ持ち、集団において仲間と協働することができる。  
4 保育の課題について適切な方法で分析をおこない、考察することができる。

2年前期

探究

1 情報機器の操作、生活・音楽の教科、保育経営、人間関係・言葉の保育内容、心身の発達と学習過程に関する知識・技術を修得している。  
2 児童文化をふまえ、インターンシップを通じて保育を根源的に理解することができる。  
3 保育職として貢献していく意思を持っている。  
集団の中で適切な方法で意見交換をおこなうことができる。  
4 保育の課題について必要な情報を収集するとともに仮説をたてることことができる。

1年後期

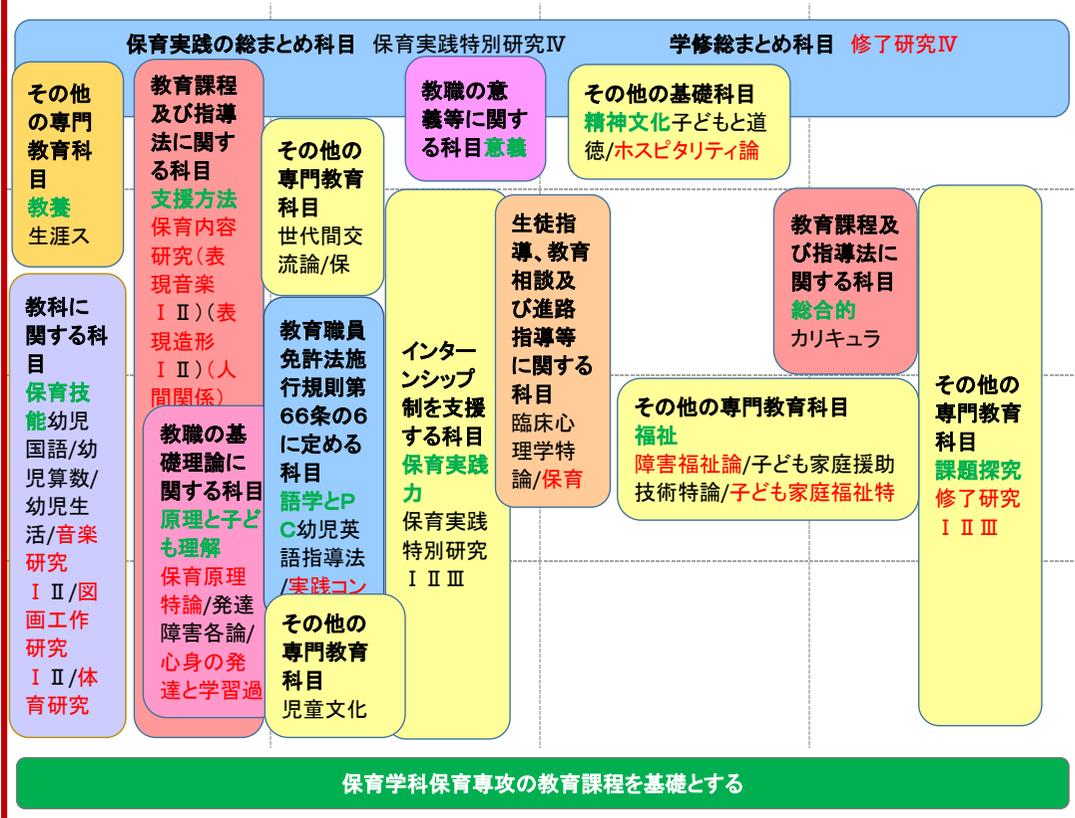
1 短期大学における学び、また実務経験からの保育の理解を定着させている。  
音楽・図画工作の教科、教職の意義、環境の保育内容に関する知識・技術を修得している。  
2 家庭福祉をふまえ、インターンシップを通じて保育の様々な場面での考察ができる。  
3 献身的精神を持っている。  
集団の目的とルールを理解し、自らの役割を遂行することができる。  
4 保育の様々な場面の中から自らの課題を抽出することができる。

1年前期

展開

保育学科  
保育専攻

基礎



カリキュラムポリシー  
(実施の方針)

教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。  
(1) 教育内容  
全学共通の教養科目や各学科の専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。  
(2) 教育方法・学習方法  
学期(セメスター・クォーター)毎に、講義、演習、実習、実験、実技を適切に配置し、全授業形態を通してアクティブラーニング型授業の展開に努めます。  
学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多元的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックするよう努めます。